

## 第6章 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進

### 1. 函館市の温室効果ガスの排出状況

#### (1) 温室効果ガスの削減目標

本市では、2011(平成23)年3月に策定した「函館市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、表6-1に示す削減目標を定めて地域における温室効果ガス削減のための取り組みを進めています。

この削減目標は、国が新たな地球温暖化対策に係る基本方針を打ち出した場合、見直しを検討することを留保したうえで設定していましたが、国では、2015(平成27)年のCOP21において、日本の約束草案として「2030年度に2013年度比26%削減」を表明したことから、2016(平成28)年度に本市の削減目標見直しについて、函館市地球温暖化対策地域推進協議会の中に「実行計画評価検討部会」を設置し検討した結果、温室効果ガス排出量の将来推計において、中期目標を達成できる可能性が高いと判断されたことから、削減目標を変更しないこととしました。

表6-1 温室効果ガスの削減目標

基準年	目標年		削減目標（基準年比）
1990(平成2)年度※	短期目標	2012(平成24)年度	-15%
	中期目標	2020(令和2)年度	-25%
	長期目標	2050(令和32)年度	-80%

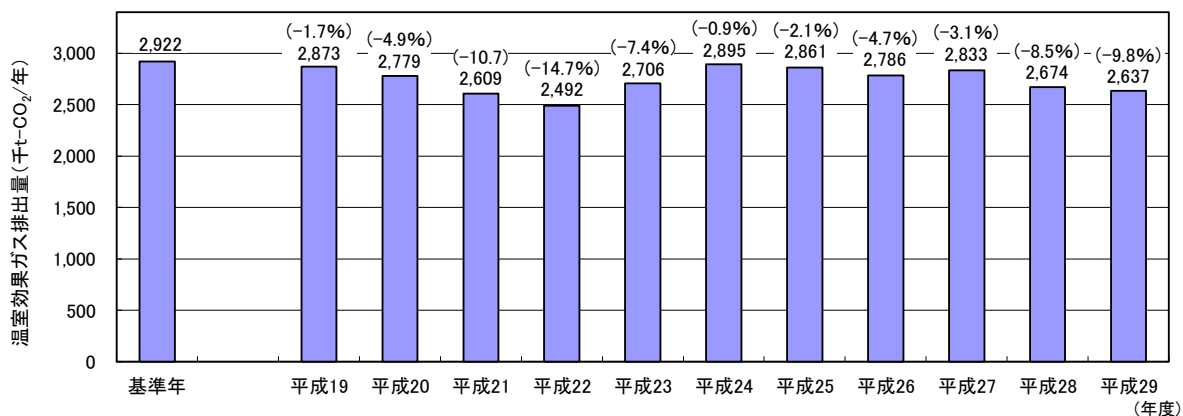
※ 対象とする温室効果ガスのうちハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄については1995(平成7)年度が基準年。

#### (2) 温室効果ガス排出量の推移

温室効果ガス排出量の推移は図6-1のとおりです。電力などのエネルギー使用量の減少により、2010(平成22)年度には、基準年比で14.7%の減少となりましたが、東日本大震災後に電力の火力発電による割合が大きくなり、エネルギー起源の二酸化炭素排出量が増加したため、短期目標年(2012(平成24)年度)は、基準年比0.9%の減少となり、目標を達成できませんでした。

なお、本排出量データについては、2016(平成28)年度に排出量の算定に使用する「都道府県別エネルギー消費統計（資源エネルギー庁）」の大幅な変更があり、1990(平成2)年度まで遡って公表値が改定されたため、本市排出量の算定値も2017(平成29)年度に基準年まで遡り改定しています。

図6-1 函館市における温室効果ガス排出量の推移



## (3) 温室効果ガスの排出状況（速報値）

本計画における算定可能な最新の排出量データである2017(平成29)年度の温室効果ガスの排出状況（速報値）を以下に示します。

なお、「都道府県別エネルギー消費統計（資源エネルギー庁）」の値が確定値ではなく暫定値として公表されていることから、本データは速報値として算定しています。

## ① 温室効果ガスの排出状況（表6-2）

2017(平成29)年度の温室効果ガスの総排出量は2,636,991 t-CO<sub>2</sub>/年となっており、基準年(1990(平成2)年度)に比べて284,902t-CO<sub>2</sub>/年、率にして9.8%減少しています。

また、構成比では二酸化炭素が94.6%を占めています。

表6-2 函館市における温室効果ガスの排出量

区分	基準年の排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	2017(平成29)年度			
		排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	構成比 (%)	基準年比 (%)	
二酸化炭素	CO <sub>2</sub>	2,865,750	2,495,533	94.6	-12.9
メタン	CH <sub>4</sub>	13,052	14,723	0.6	+12.8
一酸化二窒素	N <sub>2</sub> O	18,817	7,555	0.3	-59.9
ハイドロフルオロカーボン	HFC	7,908	118,154	4.5	+1,394.1
パーフルオロカーボン	PFC	123	37	<0.1	-69.9
六フッ化硫黄	SF <sub>6</sub>	16,243	989	<0.1	-93.9
計		2,921,893	2,636,991	100.0	-9.8

※ 温室効果ガスの種類により温室効果の程度が異なるため、二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量は、二酸化炭素を基準として、温室効果の程度を表した地球温暖化係数を乗じて二酸化炭素換算している。

※ 端数処理の関係で合計が一致しないことがある。

市民1人当たり温室効果ガス排出量（表6-3）は、基準年に比べて13.4%増加しています。

表6-3 市民1人当たり温室効果ガス排出量

区分	基準年	2017(平成29)年度	
		排出量	基準年比
温室効果ガス排出量（総量；t-CO <sub>2</sub> /年）	2,921,893	2,636,991	-9.8%
函館市の人口（住民基本台帳；人）	328,707	261,572	-20.4%
1人当たり排出量（t-CO <sub>2</sub> /人・年）	8.89	10.08	+13.4%

※ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六フッ化硫黄の基準年は1995(平成7)年度であるが、1人当たり排出量の算定にあたっては、総量を1990(平成2)年度の人口で除して求めた。

## ② 二酸化炭素の排出状況（表 6-4）

二酸化炭素の総排出量は 2,495,533 t-CO<sub>2</sub>/年となっており、基準年(1990(平成2)年度)に比べて 370,217 t-CO<sub>2</sub>/年、率にして 12.9%減少しています。

部門別に見ると産業部門、民生業務部門、運輸部門は減少しましたが、民生家庭部門は増加しています。

表 6-4 二酸化炭素の排出状況

区 分	基準年 の排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	2017(平成29)年度	
		排出量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	基準年比 (%)
産業部門	1,139,592	760,314	-33.3
製造業	999,874	707,992	-29.2
建設業・鉱業	111,225	43,514	-60.9
農業・水産業	28,493	8,808	-69.1
民生家庭部門	596,735	681,361	+14.2
民生業務部門	486,299	431,212	-11.3
公共・サービス	471,470	406,627	-13.8
水道・廃棄物	14,829	24,585	+65.8
運輸部門	643,124	583,430	-9.3
自動車	490,246	409,390	-16.5
鉄道	2,795	2,346	-16.1
船舶	150,083	171,694	+14.4
一般廃棄物の焼却	0	39,216	-
計	2,865,750	2,495,533	-12.9

市民1人当たり二酸化炭素排出量（表 6-5）は、総量では基準年に比べて 9.4%増加しています。

部門別では、産業部門が減少しましたが、民生家庭部門、民生業務部門、運輸部門は増加しています。

表 6-5 市民1人当たり二酸化炭素排出量

区 分	基準年 の排出量 (t-CO <sub>2</sub> /人・年)	2017(平成29)年度	
		排出量 (t-CO <sub>2</sub> /人・年)	基準年比 (%)
産業部門	3.47	2.91	-16.1
民生家庭部門	1.82	2.60	+42.9
民生業務部門	1.48	1.65	+11.5
運輸部門	1.96	2.23	+13.8
一般廃棄物の焼却	0.00	0.15	-
計	8.72	9.54	+9.4

※端数処理の関係で合計が一致しないことがある。

2. 温室効果ガス削減に向けた施策（アクションプラン）

温室効果ガス削減に向けた施策の状況を表6-6に示します。

表6-6 2020(令和2)年度地球温暖化対策アクションプラン

基本方針	施策の柱	基本施策	事業名	2019(令和元)年度実績	2020(令和2)年度予定	事業費 単位:千円 ( )再掲	担 当 部
1 温暖化防止のための行動の推進							
(1)「はこだてエコライフ」の推進							
家庭における省エネルギー活動の促進							
			エコライフ普及イベントの開催	はこだてエコライフフェアの開催 参加者約500人 29千円	継続実施	119千円	29 環境部
			冬休みエコチャレンジ事業	参加者492人 12千円	継続実施	10千円	12 環境部
			エコドライブの推進(環境パネル展の実施)	3か所開催 5千円	継続実施		5 環境部
			ノーマイカーデーの実施	7日間 参加者1,462人 CO <sub>2</sub> 削減効果 7,168 kg	継続実施(中止)		— 環境部
事業所における省エネルギー活動の促進							
			エコドライブの推進(環境パネル展の実施)	3か所開催 5千円	継続実施		(5) 環境部
省エネルギーに対する意識啓発の推進							
			「はこだてエコライフのすすめ」等の配布	出前講座、イベント、普及キャンペーン等 で約1,300部配布 「はこだてエコライフすごろく」作成・配布 2,000部作成 71千円	継続実施 約2,500部配布予定 「はこだてエコライフのすすめ」 作成 143千円		71 環境部
			イベント会場で「エコライフゲーム」等実施	2イベント会場 参加者195人	継続実施(中止)		— 環境部
			出前講座「はこだてエコライフで家計費節約」, 「すごろくで楽しく学び、地球温暖化を防ぐエコレンジャーを目指そう!」の実施	4回実施 参加者82人	継続実施		— 環境部
(2)環境配慮行動の推進							
事業者の環境配慮行動の促進							
			環境配慮行動の推進に関する情報提供	ホームページの随時更新	ホームページ、電子メールで随時配信		— 環境部
			エコマーク商品の普及やグリーン購入の推進 (環境パネル展の実施)	3か所開催	継続実施	61千円	(5) 環境部
			環境マネジメントシステムの導入促進	—	ホームページ、電子メールで随時配信		— 環境部
市の環境配慮行動に関する率行的取り組みの推進							
			函館市環境配慮率先行動計画の推進	率先行動評価A	行動目標達成に向けた、率先行動の確実な実施		— 全部局
			函館市グリーン購入推進ガイドラインの推進	グリーン購入率84.3%(目標85%)	継続実施		— 全部局
			函館市公共事業環境配慮指針の推進(型枠材の利用)	代替型枠使用率18.3%(目標90%)	継続実施		— 関係部
			夏季・冬季の省エネルギー対策の推進	率先行動計画に基づき省エネルギー対策への取組を行う	継続実施		— 全部局
			函館エコイベント開催マニュアルの推進	開催イベント49件 調査票提出イベント66件	継続実施		— 全部局
			条例の遵守	違法駐車等防止重点地域内の巡回調査6回	継続実施 (7月・9月の2回実施)		— 市民部
			町会会館建設費補助金	改築7件 市補助金14,741千円	継続実施 改築7件 市補助金7,049千円	14,741	市民部

第6章 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進

基本方針	施策の柱	基本施策	事業名	2019(令和元)年度実績	2020(令和2)年度予定	事業費 単位:千円 ( )再掲	担当部
2 エネルギーの有効利用の推進							
(1) 省エネルギーの推進							
省エネルギー型設備・機器導入の促進							
			市立函館病院の上水使用量等の削減および揚水に係る電気エネルギーの削減	蛇口を節水コマタイプへ取り替え 852箇所(上水使用量 21,049 m <sup>3</sup> 削減, 電気使用量4,472kWh削減(揚水ポンプ等))	継続実施		病院局
			市立函館病院ESCO事業	平成30年4月より運用開始 ESCO事業の導入計画 ・空調にかかると冷水・温水発生設備等 ・照明器具 一次エネルギー 26.83%削減 CO <sub>2</sub> 排出量 25.02%削減	継続実施		病院局
			街路灯設置費補助金	町会等が設置するLED街路灯の助成 1,514 灯 市補助金 47,447 千円	継続実施 1,063 灯 市補助金 38,998 千円	47,447	市民部
			青少年研修センターの省エネ化	LED化	継続実施		生涯学習部
			函館市夜景グレードアップ構想・基本計画の推進	新規施設等のLED化の検討	継続実施		観光部
			観光街路灯整備	末広1号線街路灯のLED化等 街路灯 17基ほか 19,572千円	—		19,572 観光部
			特別史跡五稜郭跡観光照明塔改修事業	照明塔のLED化 1基 6,050 千円	照明塔のLED化 1基 9,700千円		6,050 観光部
			水産物地方卸売市場照明器具のLED化	照明器具のLED化 197 台 13,475 千円	—		13,475 農林水産部
			道路整備事業(道路付属物更新)	—	LED街路灯の設置 25 基 25,000 千円		土木部
省エネルギー型住宅等の普及促進							
			函館市住宅リフォーム補助制度	住宅の断熱改修工事等に対する補助 66 件 12,648 千円	継続実施 12,000 千円	12,648	都市建設部
エコカーの普及促進							
			市公用車への低公害車の導入	公用車の更新・新規購入時の優先的導入	継続実施		全部局
			低公害車フェアなどによる普及の促進	はこだて・エコフェスタでのエコカーブース設置(5 団体)	継続実施 (中止)		環境部
			電気自動車導入による地球温暖化対策啓発	総走行距離 12,184 km CO <sub>2</sub> 削減効果 1,978 kg 587 千円	継続実施		587 環境部
(2) 自然・未利用エネルギーの導入の推進							
自然エネルギーの導入・利用促進							
			公共施設等への自然エネルギーの導入	公共施設での太陽光発電(15 箇所) 公共施設での小水力発電(1 箇所)	新規施設 1 箇所(太陽光発電)		関係部
			住宅用太陽光発電システム設置補助	1kW あたり 3 万円(上限 3kW まで) 39 件 3,374 千円	—	3,374	経済部
			新エネルギーシステム設置費補助	—	太陽光発電システム 20 件 定置用リチウムイオン蓄電池 20 件 家庭用燃料電池 20 件 計 60 件 5,000 千円		経済部
			産業活性化資金(自然エネルギーの利用促進)	実績なし	継続実施		経済部
			市有地の貸与による民間事業者の太陽光発電事業	太陽光発電設備設置 5 箇所(合計発電規模2,358kW)	継続実施		経済部
			地域新エネルギービジョンの推進	太陽光発電事業の実施, HPによる周知, 関係団体との情報交換等	継続実施		経済部
未利用エネルギーの有効利用の促進							
			終末処理場での消化ガス発電等	発電電力量 590,376kWh, 自給率 9.1%	継続実施		企業局 上下水道部
			ごみ焼却工場の廃熱の有効利用(発電・給湯・暖房)	発電電力量 12,849,479kWh, 自給率 89.6%, 売電金額 55,221 千円, CO <sub>2</sub> 削減量 8,262t 余熱利用(給湯・暖房)熱利用 12,631GJ CO <sub>2</sub> 削減量 720t	継続実施		環境部

基本方針	施策の柱	基本施策	事業名	2019(令和元)年度実績	2020(令和2)年度予定	事業費 単位:千円 ( )再掲	担 当 部
			赤川高区浄水場構内に小水力発電設備整備	発電量 1,441,760kWh 売電量 1,377,009kWh 売電金額 51,087 千円	継続実施	-	企業局 上下水道部
3 低炭素型のまちづくりの推進							
(1)コンパクトなまちづくりの推進							
市街地の拡大抑制							
			コンパクトなまちづくりの推進	周知・啓発: 広報誌の活用, 出前講座 各種施策との連絡調整	継続実施	-	都市建設部
(2)公共交通の充実等の推進							
公共交通機関の充実							
			交通事業経営ビジョンの推進	利用促進, 建設改良等	継続実施	-	企業局交通部
利用者サービスの向上							
			公共交通の利用促進	「函館市生活交通協議会」協議内容: バス生活路線の確保方策および輸送 サービスの充実に関すること	継続実施	-	企画部
			路面電車の利用促進および軌道改良工事等	利用促進事業: 利用促進キャンペーン, 鉄道の日記念事業 98 千円 軌道改良工事: 深堀町～駒場車庫前間 184,236 千円 軌道改良工事: 十字街～市役所前間 113,850 千円 安全地帯改良工事: 湯の川温泉 74,250 千円	継続実施 利用促進事業: 77 千円 車体改良工事: 2 両 122,320 千円 軌道改良工事: 十字街～市役所前間 113,850 千円 安全地帯改良工事: 湯の川温泉 74,250 千円	184,334	企業局交通部
自動車使用の見直しへの誘導							
			ノーマイカーデーの実施	7 日間 参加者 1,462 人 CO <sub>2</sub> 削減効果 7,168kg	継続実施 (中止)	-	環境部
			エコな移動手段の推進	-	ホームページ, ラジオ, 広報紙等で啓発	-	環境部
			函館市環境配慮率先行動計画の推進	ノーマイカーデーへの参加	継続実施 (中止)	-	全部局
交通の円滑化の推進							
			道路改築事業(社会資本整備総合交付金)	西桔梗中央線ほか 6 路線 延長 524m 154,508 千円	西桔梗中央線ほか 5 路線 延長 1,197m 387,000 千円	154,508	土木部
			街路整備事業	3・4・110 中道四稜郭通ほか 1 路線 延長 161m 158,337 千円	3・4・110 中道四稜郭通ほか 2 路線 延長 812m 326,800 千円	158,337	土木部
			歩道設置	西桔梗中央線ほか 6 路線 285,024 千円	西桔梗中央線ほか 6 路線 668,400 千円	(285,024)	土木部
(3)緑化等の推進							
公園・緑地の整備推進							
			緑の基本計画の推進	緑のパートナー会議の開催, 「緑の副読本」の作成・配布	継続実施	1,116	土木部
			函館山緑地および公園等の整備	函館山緑地, 高盛公園ほか 1 か所 91,543 千円	函館山緑地 15,000 千円	91,543	土木部
			東部 4 支所管内の公園等の整備	戸井憩いの丘公園ほか 6 か所 6,616 千円	継続実施 8,305 千円	6,616	東部 4 支所
公共空間等の緑化推進							
			道路沿線の緑化推進	街路樹本数 259,889 本	継続実施	-	土木部
			河川改修事業	小田島川: 護岸工ほか 182,981 千円	小田島川: 護岸工ほか 183,000 千円	182,981	土木部
			花いっぱい運動	榎法華地区国道 278 号沿い, ほか 花苗数 200 株 84 千円	継続実施 (中止)	84	榎法華支所
			函館駅前花いっぱい事業	函館駅前広場 15,464 千円	継続実施 15,609 千円	15,464	土木部
			桜後継樹育成調査研究事業	調査研究 202 千円	継続実施 200 千円	202	住都公社
			保存樹木等助成	樹木 119 本 樹林 17,280 m <sup>2</sup> 生垣 115 m <sup>2</sup> 331 千円	継続実施	331	土木部
			地域緑化アドバイザー活動推進事業	地域緑化アドバイザー登録者数 20 人 100 千円	継続実施 20 人 101 千円	100	住都公社
			学校緑化活動サポート事業	応募 36 校 配布花苗 14,000 株 2,643 千円	応募 36 校 配布花苗 13,160 株 2,800 千円	2,643	住都公社
			沿道花いっぱい運動	44 町会, 10 団体 63,250 株 26 路線	44 町会, 10 団体 63,250 株 26 路線	-	住都公社

第6章 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進

基本方針	施策の柱	基本施策	事業名	2019(令和元)年度実績	2020(令和2)年度予定	事業費 単位:千円 ( )再掲	担当部	
			はこだて花と緑のフェスティバル	来場者数 26,319 人 公社負担金 3,417 千円	継続実施 (中止)	3,417	住都公社	
			花のパートナー事業	参加者 40 人, 公共花壇等 4 か所(堀川, 杉並, 昭和, 五稜郭) 848 千円	参加者 46 人, 公共花壇等 5 か所 1,260 千円	848	住都公社	
			花と緑のパートナーシップ募金	募金額 600 千円	継続実施	—	住都公社	
			ポケットパーク事業	協力者延べ 137 人 公共花壇 3 か所 (梁川, 中島, 松陰) 561 千円	継続実施 公共花壇 3 か所(梁川, 中島, 松陰) 900 千円	561	住都公社	
			森林整備の推進					
			市有林整備(植栽, 保育, その他)	森林施業 森林面積 52,820ha 21,197 千円	継続実施 27,239 千円	21,197	農林水産部	
			林道法面草刈り等	林道 2 路線 692 千円	継続実施 692 千円	692	南茅部支所	
			水源かん養林の整備	間伐等 8.16ha 20,222 千円	継続実施 間伐等 7.24ha 18,942 千円	20,222	企業局 上下水道部	
4 循環型社会形成の推進								
(1) 廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用の推進								
廃棄物の減量化・再資源化の推進								
			資源ごみの分別収集, 処理	処理実績 スチール缶 331.56t, アルミ缶 543.55t, びん 2,429.94t, ペットボトル 1,456.89t, プラ容器 2,598.12t 家具 47 点, 自転車 135 点	継続実施	—	環境部	
			函館市ごみ減量・再資源化優良店等認定制度	認定店舗数 231 店舗・事業所	継続実施	—	環境部	
			資源回収団体への支援	回収団体数 420 団体(奨励金支給団体 406 団体) 回収量 7,290,376kg 奨励金および回収業者への助成 37,097 千円	継続実施	37,097	環境部	
			新たなごみ処理システムの検討	・小型家電リサイクル 回収量 87,425kg ・古着回収の実施 回収量 115,960kg ・蛍光灯の調査回収 回収量 5,111kg 1,234 千円	継続実施 一時休止 継続実施	1,234	環境部	
			再生材利用の周知	工事の発注にあたり再生材の利用について記載	継続実施	—	関係部	
			日乃出清掃工場焼却灰のセメント資源化	セメント資源化量 1,371.71t	継続実施	—	環境部	
			日乃出清掃工場の整備	基本設計, 各種調査, 整備方針の決定	事業者の公募・選定	—	環境部	
			消費者への普及啓発	食品ロス削減啓発冊子・パンフレットの配布	食品ロス削減啓発ポスター・リーフレット等の掲示・配布	—	市民部	
適正な廃棄物処理の推進								
			第3次函館市一般廃棄物処理基本計画の推進	函館市廃棄物減量等推進審議会での進捗状況等の報告	函館市廃棄物減量等推進審議会での進捗状況等の報告, ホームページ等に公表	—	環境部	
			合併処理浄化槽設置補助	33 基 17,535 千円	33 基 18,143 千円	17,535	環境部	
循環型社会形成に向けた意識啓発								
			資源循環意識の啓発	環境部ニュースの発行, 再生品愛用キャンペーン, レジ袋削減およびごみのポイ捨て防止キャンペーン実施等	継続実施	—	環境部	
			「ごみの分別・リサイクル」出前講座の実施	1 回開催 参加者 34 人	継続実施	—	環境部	
			「ごみの減量化・再資源化」出前講座の実施	8 回実施 参加者 130 人	継続実施	—	環境部	
			リサイクルセンターの見学	見学団体 7 団体 参加者数 181 人	継続実施	—	環境部	
			環境フェスティバルの開催	はこだて・エコフェスタ 2019 開催 来場者約 4,800 人 市負担金 477 千円	はこだて・エコフェスタ 2020 開催 市負担金 463 千円 (中止)	477	環境部	
			ダンボール箱を利用した生ごみ堆肥づくり講習会の開催	開催中止(予定 1 回)	継続実施 開催回数 1 回 5 千円	—	環境部	
			ダンボールコンポスト・メイト事業の実施	登録人数 12 人 生ごみ減量効果 207.9 kg 5 千円	継続実施 5 千円	5	環境部	
			生ごみ水切り促進	生ごみ水切り袋の配布, アンケート調査 49 千円	継続実施 29 千円 (中止)	49	環境部	

基本方針	施策の柱	基本施策	事業名	2019(令和元)年度実績	2020(令和2)年度予定	事業費 単位:千円 ( )再掲	担当部
			食品ロス対策	チラシ, ポスター, 三角ポップ配布等 6千円	継続実施 300千円	6	環境部
			プラスチックごみ対策	事業所アンケート調査, プラスチックごみ削減キャンペーン, 海洋ごみ防止啓発看板の設置等 484千円	パンフレット作成, プラスチックごみ削減キャンペーン, 海洋ごみ防止啓発看板の設置等 1,889千円	484	環境部
			消費生活パネル展	消費生活に関するパネルの展示, パンフレットの配布	継続実施 (中止)	—	市民部
5 温暖化防止を担う人づくりの推進							
(1) 環境教育の推進							
学校等での環境教育の推進							
			子どもエコクラブ活動の実施	3回開催 参加者 188人	継続実施 3回開催 参加者 203人	—	環境部
			スクール・エコニュースの実施	6校 24作品の応募 (作品展中止) 23千円	継続実施 18千円	23	環境部
			小中学校における環境教育	校区内清掃等活動等 延べ実施校 小学校98校 中学校34校	継続実施	—	学校教育
			副読本の作成	「くらしの中のごみとエコ」の作成 小学4年生用 2,100部 教師用 260部 564千円	「くらしの中のごみとエコ」の作成 小学4年生用 2,130部・教師用 260部 497千円	564	環境部
			冬休みエコチャレンジ事業	参加者 492人 12千円	継続実施 10千円	(12)	環境部
生涯学習での環境教育の推進							
			環境をテーマとした講座等の開催	出前講座 13回 参加者 246人 はこだてエコライフフェア 参加者約 500人	継続実施	—	環境部
			各種イベント・講座の開催	水道週間行事の開催(小学生の図画・習字展等) 1,091千円 上下水道施設見学会 小学校6校 見学者(一般含む) 延べ 1,980人 643千円	継続実施 水道週間行事の開催 1,121千円 (中止) 小学生上下水道施設見学会 6校 643千円	1,734	企業局 管理部
			自然体験講座等の開催	公園活用講座等 12回開催 参加者延べ 182人 996千円	継続実施 公園活用講座等 13回開催 2,164千円	996	住都公社
			ホテルの里づくり促進事業	ホテル鑑賞会実施 7日間 224千円	継続実施 231千円	224	住都公社
			自然観察等体験活動	函館山を知ろう ほかに7事業 参加者延べ 350人	継続実施	—	生涯学習部
			環境に関する体験講座	—	実施検討	—	生涯学習部
			市立函館博物館講座	夏休み自由研究講座 参加者数68人	継続実施	—	生涯学習部
(2) 人材育成の推進							
高等教育機関との連携等による人材育成							
			環境をテーマとした講座等の開催	出前講座 13回 参加者 246人 はこだてエコライフフェア 参加者約 500人	継続実施	—	環境部
各種講座・研修会による知識習得の促進							
			環境をテーマとした講座等の開催	出前講座 13回 参加者 246人 はこだてエコライフフェア 参加者約 500人	継続実施	—	環境部
(3) 環境ネットワークの推進							
各種団体との連携強化							
			函館市地球温暖化対策地域推進協議会の運営	・「はこだてエコライフのすすめ」普及 キャンペーンの実施 ・はこだてエコライフフェアの開催 ・ノーマイカーデー事業検討部会活動	継続実施 継続実施 継続実施	100	環境部
			団体活動の情報提供	ホームページでの情報発信	継続実施	—	環境部
地球温暖化に関する情報の共有化の推進							
			環境パネル展の開催	3か所 5千円	継続実施	(5)	環境部
			環境モニター制度の推進	定期アンケート調査	—	—	環境部
			環境部ホームページの運用	ホームページの随時更新	継続実施	—	環境部
			環境白書の発行	電子データでの公表	継続実施	—	環境部
事業費合計(2019(令和元)年度)						1,023,735千円	